

第304回  
株式会社テレビ新潟放送網  
放送番組審議会

- 1 開催日時 平成26年1月27日(月)午後4時30分  
2 開催場所 新潟グランドホテル 会議室  
3 委員総数 8人 出席委員8人

出席委員

豊口 協	委員長	大矢 純一	副委員長
佐野 晃之	委員	藤井 敬久	委員
碓井 真史	委員	大久保千春	委員
田村 明子	委員	尾畑 留美子	委員

会社側出席者

代表取締役社長	室川 治久
常務取締役(編成・報道・制作・国際担当)	水島 敏夫
編成局長 兼 放送番組審議会事務局長	竹石 尚史
報道制作局長	稲田 裕之
制作部長	小木 裕介
番組プロデューサー	大橋 義宏
事務局	紫竹 聡子 水野 明子

## 4 議 題

### 1) 番組合評

「絶品！海の宝石箱を目指せ！！冬の日本海 女子アナ  
おもてなしバスツアー」

〔放送：平成 25 年 12 月 28 日（土）14：30～15：25 放送〕

（説明：番組プロデューサー 大橋義宏）

### 2) 会社報告

- ・ 11、12 月の視聴者の意見 (報告：番組審議会事務局)
- ・ 定例の報告等 (報告：番組審議会事務局)

### 3) その他

## 5 審議の概要（委員の意見）

会社側より、この番組は、中部地方の 8 県のテレビ局の共同制作で、年度下期の企画コンペで当社の企画が採用されたことから、当社が制作幹事社として取り組んだものであることが説明された。制作のポイントは、地元局女性アナウンサーが地元の名産を伝えるというスタイルを柱に構成した点。内容は、日本海側の局アナが、太平洋側の局アナを案内し、タレントを同行して各地の厳選食材でもてなすというもの。ゲーム要素を取り入れながら、地域の特性や魅力を情報として視聴者に伝えた。

- 登場人物が多いという印象を持ったが、アナウンサーチャレンジというゲーム要素を盛り込みながら地域情報が伝えられていたので面白く見る事ができた。
- ゲストの吉田たかよしさんによる解説は、データによる裏付けがあって興味深く見る事ができた。
- TeNY 諸橋アナの存在感が他局アナを圧倒していて印象的だった。
- 全体的にテンポがよく、飽きずに最後まで見る事ができた。
- グルメリポートの難しさが番組を通じよくわかった。
- おもてなしをするご当地アナがテキパキしている一方で、訪問するゲストアナが、どうふるまってるのか戸惑っているように見えた。タレントではないので難しいとは思いますが、やや物足りない印象だった。
- 冬のアッコウが新潟名物というのは意外な発見で、新潟のシーンがとても印象的だった。
- ゲストタレントの配置バランスが良かった。
- ブリの別名、ガントや、富山の方言キトキト、開高井など初めて知るものもあり興味深かった。
- 番組BGMが楽しく雰囲気合っていた。
- 各地食材の特色や、価格、カニの美味しい食べかたなど、もっと情報が欲しかった。
- ご当地の酒の情報も厳選食材とともにあるとよかった。
- この番組は「4つの地域のコンペティション」という印象を持った。日本海側を知らない地域のアナウンサーが、日本海側の食文化に触れて驚きや新しい発見をする過程が大変興味深かった。
- アメ横という名称は、本来、アメリカ製品の中古市場の意味があり、魚の市場の名称として使われているのが改めて気になった。

## 6 会社側の報告

### 1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

1 1月…… 88件。

1 2月…… 88件

### 2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(平成25年11月25日) から 昨日(平成26年1月26日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

## 7 審議機関の答申または意見（前回審議会）に対してとった措置

1) 前回、第303回審議会では、「届け！明日のリングへ ～里村が作った“仙女”という情熱～」を審議いただきました。委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。

2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。

## 8 今回の第304回放送番組審議会の公表

1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。

2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。

3) インターネットのTeNYホームページに議事概要を掲載します。

## 9 参考事項（委員への配布資料）

- ・ 11月、12月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・ 11月、12月の単発番組制作一覧
- ・ 民間放送新聞（1/3、1/23）

- ・ B P O 報告 (No.130)

以上